

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

～ クラウド型ストレージサービスでのAWS活用 ～

AWSの活用で運用コストを大幅に削減。 中小企業向けクラウド型サービスの コスト削減と品質向上を実現した。

中小オフィス向け IT 支援サービス「HOME」は利用者増加への対応、そしてサービス品質とコスト競争力の向上のために、サービス提供基盤の抜本的見直しが求められた。利用者数やトラフィック量の急激な変化にもすぐに対応でき、しかも運用コストを下げたい、従来のシステム基盤構築では不可能に思えた課題を解決したのが AWS (Amazon Web Services) だった。

数ある「HOME」のサービスメニューの中でも、早急に対応が必要だったクラウドストレージサービス「HOME-BOX²」を AWS に移管するために費やした構築期間はわずか 4 ヶ月程度、しかし効果は顕著だった。通信費等の運用コスト大幅削減に成功。削減できた費用は品質向上のための運用監視やパフォーマンス向上に活用した。

ユーザーが実現できたこと

- ✓ **利用者やトラフィックの急増にもすぐに対応可能なサービス提供基盤を構築できた。**
- ✓ **安定稼働でサービス品質が向上。運用コストの削減によりサービスの競争力も高まった。**
- ✓ **クラウドの活用を通じて新たなビジネス開拓の可能性を見いだせた。**

▶ 導入先プロファイル

Canon

法人名：キヤノンマーケティング
ジャパン株式会社

URL：http://canon.jp/

住所：東京都港区港南 2-16-6

設立：1968 年 2 月

連結子会社：26 社

事業内容：キヤノン製品ならびに関連ソリューションの国内マーケティング

HOME は、中小オフィスが環境変化に柔軟に対応するため、最新情報や今後のトレンドをお客さまに代わって調査・分析し、最新で最適なソリューションを利用しやすい月額課金型のサービスとしてワンストップで提供するサービスです。

HOME-BOX² はクラウド上で電子データを共有・管理するためのストレージです。imageRUNNER ADVANCE でスキャンした紙文書や受信したファクス文書を電子化し、クラウド上に安全に格納し、外出先でスマートデバイス等からデータを閲覧することが可能。お客さまのワークスタイルの変革と業務の効率化を支援します。

 **HOME-BOX²**
Cloud Advanced Box

キヤノン IT ソリューションズは、「AWS Partner Network (APN)」コンサルティングパートナーです。



— 導入部門の声 —



コーポレートシステム企画本部
ドキュメントマネジメント企画部
HOME企画課
石倉 健 様

「AWSのエキスパートによる支援に期待」

「使いやすいとは言うものの、AWSのメリットを十分に引き出すには経験や知識が必要です。AWSのコンサルティングパートナー認定資格を取得し、AWS技術者を養成しているキャノンITソリューションズの存在は重要です」

— 担当営業紹介 —



ITサービス事業本部
ITサービスマネジメント事業部
ITサービス事業企画課
上総 武

「AWSは価格競争力というキーワードがフォーカスされがちですが、その特長を活かすための構成や、運用を見据えた設計が非常に重要です。キャノンITSではAWS社を交えた定期ミーティングや設計レビューを通して技術者の育成と知識の向上をはかり、AWS提案の様々な要求に応じていきたいと思っております」

ユーザーの要望

- ▶ 既存のシステムは利用者数の急増で限界。早急に再構築したい。
- ▶ 運用負荷とコストを削減し、より魅力的なサービスを実現したい。
- ▶ 中長期的な視野で、新たなビジネス展望を開きたい。

課題

導入前の課題と背景

既存のサービス提供基盤が限界に

今回クラウドに移行したHOME-BOX²とは、どのようなサービスですか
「『HOME』は情報システム部門をもたない企業や団体でも、セキュアな環境でセキュリティ、グループウェア、クラウドストレージなど豊富な機能をご利用いただけるサービス事業です。多彩なメニューと導入しやすさにより利用者を増やしてきましたが、利用者数急増により、特にクラウドストレージサービス『HOME - BOX²』については、早急なシステム対応が求められました。しかし、ここで問題になったのが通信コストと容量です。データバックアップのため『HOME - BOX²』をご利用になるお客様も多く、データのアップロード量はダウンロードの約10倍に達することから、上りの通信費が大きなコスト要因になっていました。また、昼中と夜間のトラフィック量に大きな開きがあり、ピーク時に合わせてシステム設計せざるを得ないという、柔軟性に欠ける点も課題でした」

必然

導入の必然性

AWSのスケールメリットと柔軟性を享受したい

AWSが運用コストや柔軟性の問題を解決すると考えたのですね

「『HOME』のようなクラウド型サービスで競合に勝つためには高品質なものを低価格で提供する必要があります。競争力のある価格を実現するには運用コストの削減が不可欠ですが、システム基盤を自前で構築して拡張した場合、急速なユーザーの増加にも容易に対応が可能なパブリッククラウドには太刀打ちできません。」

AWSを利用すれば、上りの通信費が大幅に軽減されることは明らかでしたし、トラフィック量やインスタンス数の急な変化にも柔軟に対応してくれるので、キャパシティ予測そのものが不要となり、ピーク時に合わせて過剰なシステムを構築する必要もありません。運用コストの削減が期待できることも、AWS採用の大きな理由でした」

工 夫 運用の工夫 万全の事前確認でシステム設計

AWS への移管作業の流れを聞かせてください

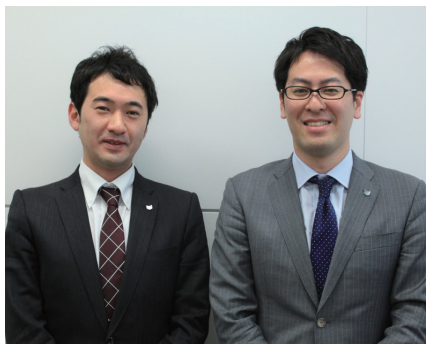
「だれもが認知するクラウド基盤としての AWS を目標として、いくつかのパブリッククラウドを評価、検討した結果、事例の多さ、バックグラウンドの充実、コストパフォーマンスの点で AWS が最も優位であると判断しました。

サービスオーナーの立場から AWS の採用希望をキャノン IT ソリューションズに伝えました。同社でも現在の基盤の再構築は従来とは手法を変えて AWS の採用を考えていたため、『HOME - BOX²』の移管が AWS 上に可能かどうかの技術的な検証にはいりました。

その結果、数ある AWS のサービスの中から規模可変が特徴の Amazon Elastic Compute Cloud (以下 Amazon EC2)、Amazon EC2 のデータを保持するストレージ Amazon Elastic Block Store (以下 Amazon EBS)、ロードバランサー Amazon Elastic Load Balancing (以下 Amazon ELB)、そしてストレージの Amazon Simple Storage Service (以下 Amazon S3) を利用することを決定。この構成で動作するように、データ書き込み手順など既存システムを約 1 ヶ月かけて修正しました。

次に実際に AWS 上でテストを行いました。2016 年から 2018 年までの各年の利用者数増加や日中のピーク時を想定して実際に負荷をかけてシステムの性能などを検証したのです。本番環境を簡単に構築でき、事前に十分なテストを行うことができるのも、AWS のメリットのひとつです。

3 ヶ月ほど十分にテストを行うことで、システム稼働に最適なインフラを見極めることができました」



ドキュメントマネジメント
企画部 HOME 企画課
チーフ 石倉 健 (左)
柳 啓士郎 (右)

構築作業はどのように分担したのですか

「AWS は、基盤に関する専門知識のないアプリケーションエンジニアでも扱えるので、既存のシステムの AWS への移植作業の主な部分は、キャノンマーケティング

ジャパンが担当しました。

一方、従来同様 AWS 移行後も運用はキャノン IT ソリューションズに委託し、稼働監視や障害時のオペレーションの設計は同社が行っています。運用面では経験値の高さが重要になるからです」

成 果 取り組みの成果 コスト削減とサービス品質向上を実現

以前の基盤が抱えていた課題は解決しましたか

「AWS 上で『HOME - BOX²』のサービス開始は年明けでしたが、さっそくその柔軟性が試されることになりました。年初で集中するアクセスに対応し、即日でサーバー増強を実施。急激なトラフィックの変動にもサービスオーナー主導ですぐに対応できました。今後、不測事態に直面しても、迅速にアクションができるということです。

運用コストも大幅に削減でき、通信費は以前の 1/6 以下になりました。また、旧基盤では必要だったバックアップが不要となり、通信費以外の運用コストの削減でも大きな効果をあげています。

『HOME』のような商材では障害が発生すると、このサービスの導入をお勧めした営業担当者へすぐにクレームがはいります。しかもこうした問題は営業マインドの低下にもつながるので、システムの安定運用やお客様対応には細心の注意を払って取り組まなければなりません。

同種のサービスとの競合が厳しさを増すなかで、AWS の導入を機にサービス品質を向上できたことは、とても重要なことです。

市場には中小規模オフィス向けサービスが多く存在するなか、我々は ①セキュアな環境を提供し ②クラウドにお客様のビジネス領域を移すことで効率化を実現、③必要な運用をすべてサポートする、この三位一体のサービス提供で差別化を図っていきます。

AWS の柔軟性と強味を活用すれば、時代のニーズに合わせて商材やビジネスモデルを短期間に構築することも可能です。スピード感をもって事業戦略を構築しなければならない今、AWS は最適です。

AWS は事業戦略にさらなるスピード感をもたらしてくれるのではないのでしょうか。また、AWS であれば SLA や SLO の認識も共有でき、オープンなプラットフォームとして開発や運用でサードパーティと協業する上でも期待できそうです」

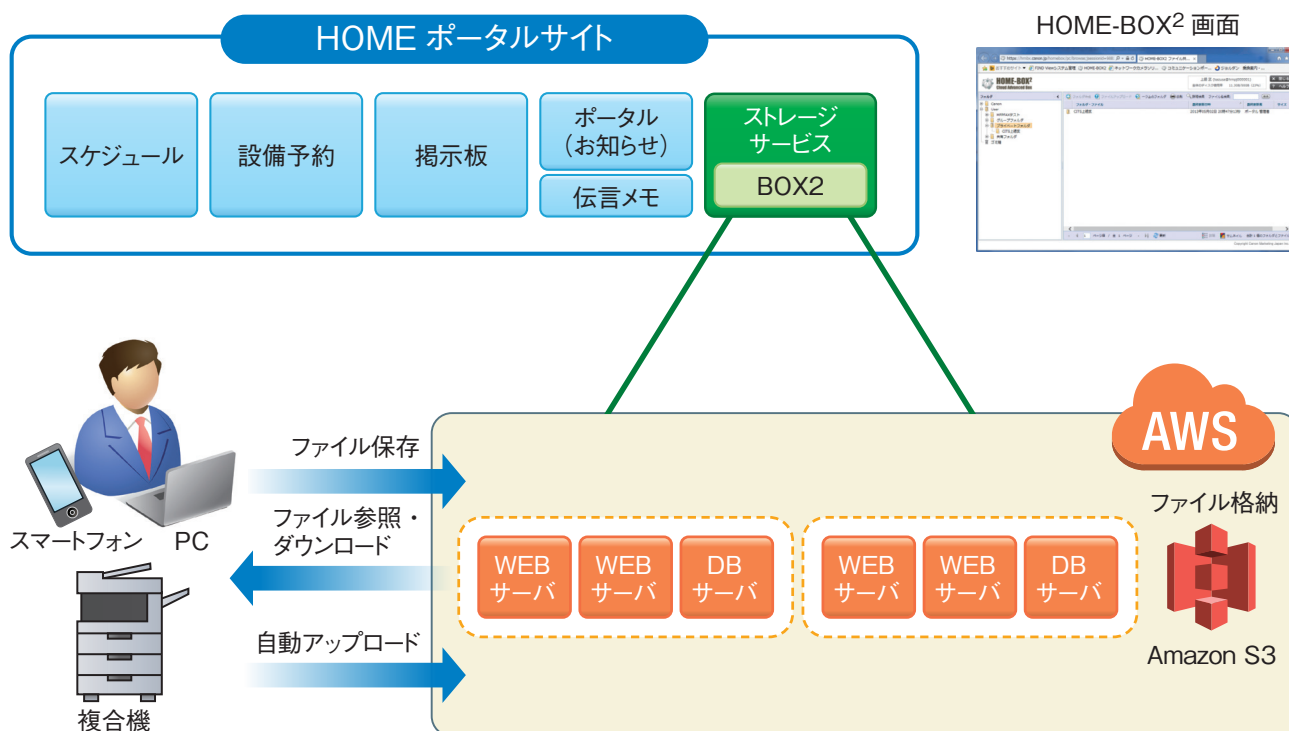
将来 将来の展望 AWSの活用範囲を広げたい

今後の展望についてお聞かせください。

「今回は『HOME - BOX²』がAWS移管の対象でしたが、今後はそれ以外の『HOME』の構成もAWSへ移管することも視野に入れて検討しています。

AWSを活用するサービスが拡大することで、今後AWS自体もさらに機能やコスト競争力が高まるでしょう。従来のように自社のシステムへの先行投資から、AWSの活用により短期間で新サービスを市場投入するというビジネススタイルへの転換は、当社にも新たな可能性をもたらすものと期待しています」

AWSの活用イメージ



Amazon Web Services (AWS)

Amazon Web Services は、Amazon.com により提供されるクラウドコンピューティングサービスです。キヤノン IT ソリューションズでは、お客様の課題解決のために、AWS をシステム基盤として活用し、より付加価値の高いサービスを提供します。



クラウドインテグレーション for AWS

www.canon-its.co.jp/idc/aws.html

キヤノンITソリューションズ株式会社 ITサービス事業本部
TEL(03)5730-7952

●Amazon Web Services、アマゾン ウェブ サービス、AWS、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)、Amazon Simple Storage Service(Amazon S3)、および Amazon Web Services ロゴは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

Canon キヤノン IT ソリューションズ株式会社